

じそんのかね

# 自尊の鐘



藤崎西中学校 学校だより

2020.1.20. NO 2 1

発行責任者 校長 秋澤英俊



「人を敬い、いっくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。

## それぞれの決意を固める場に-3年生を送る会の取組



新しい年が明け、令和2年が始まり3学期も2週間ほどが過ぎようとしています。ねずみ(子)は、十二支の一番はじめということで、子年は、新しいことがスタートする、種子の中から新しい生命が動き出す、そんな年になるといわれています。オリンピックイヤーでもある2020年、どんな新しいことが起こるのでしょうか、期待が高まります。

さて、学校においては、3学期はまとめの学期といわれます。また学年・学級通信などですでに書かれていますが、一年のま

とめであるとともに、3学期は4月からの新しいスタートへの準備の学期であり、「0学期」などという言い方もあるようです。3年生は4月からの高校生活に向けて、1・2年生は先輩・最上級生として、それぞれの準備をする、とにもかくにも大事な学期であることは確かです。そんな3学期が始まり、さっそく生徒会を中心に、1・2年生による「3年生を送る会」の取組が始まりました。先週の17日には「3年生を送る会を成功させる会」が放課後体育館で開かれ、目的やテーマ、取組内容の確認が各部門のリーダーとなる実行委員から紹介されました。

テーマは「花束～羽ばたくあなたへ感謝の花を」です。3年生に下級生全員が感謝やお礼の気持ちを贈る会になることを期待しています。と同時に、先ほどの準備という意味では、3年生に「来年の西中は任せてください」「私たちが伝統を受け継ぎ、創っていきます」という決意を示し伝える場でもあるはずです。生徒会長の大川くんが話したように、1・2年生みんなで「リーダーの指示のもと、それぞれの役割をきちんと果たし、さらに自分ができることは何か見つけて動く」そんな取組になってくれればと願うところです。生徒会役員デビュー戦、成功させる会では「しっかりやるぞ」という気持ちが伝わってきました。みんなで準備から当日まで全力でがんばり、3年生に西中をしっかりと受け継いでいくという気持ちを伝えてほしいと思います。

